

事務事業名		特別養護老人ホームえがおの里増床事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあう暮らしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	高齢者福祉G	課長名	内田 孝夫
	施策名	(18)高齢者福祉の充実		担当者名	糸原 幸子	電話番号	(0854)40-1042 (内線) 3618
	目的・対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、いきいきと暮らす。			
	基本事業名	(053)老人福祉施設等の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 9 老人福祉施設整備事業 項目 中事業 中事業名 0 5 3 5 0 1 老人福祉施設整備事業		
目的・対象	施設入所者	意図	いきいきと暮らす。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 25 年度 ~ 26 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【25年度】 9,450千円 ・実施設計業務委託 ・敷地測量・地質調査業務委託
【26年度】 314,640千円 ・建設工事監理業務委託 ・増床工事・既存施設改修工事 ・バス車庫解体工事 ・増床棟備品購入 ・既存施設空調・給湯設備更新工事実施設計業務委託

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・指定管理者(雲南市社協)との協議(増床分の基本設計、既存建物の改修等) ・実施設計業務の委託 ・敷地測量・地質調査業務の委託 ・県補助金の事前協議	26年度計画(26年度に計画する主な活動) ・増床工事・既存施設改修工事 ・設計監理業務の委託 ・既存施設の空調・給湯設備更新に係る実施設計業務委託 ・県の施設整備補助金・開設準備経費補助金の申請手続 ・備品購入 ・法に基づく認可・指定の変更手続き ・関係係規の改正 ・竣工式等の開催				
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	市内特別養護老人ホームの入所定員数	人			380	400
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
	特養入所を希望している高齢者等	ア	要介護3~5の特養入所申込者数(7月1日現在)	人			395	390
		イ	要介護1以上の特養入所申込者(7月1日現在)	人			568	560
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)		
施設待機から入所になったことにより、安心して生活することができる。	ア	市内特養における年間入所人数	人			66	100	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
委託料 9,450千円 ・増床工事実施設計業務委託料 7,455千円 ・敷地測量・地質調査業務委託料 1,995千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円			57,000	
		地方債	千円			176,500	
		その他	千円			71,821	
		一般財源	千円			9,450	9,319
		事業費計(A)	千円			9,450	314,640
		正規職員従事人数	人			3	
	延べ業務時間	時間			200		
	人件費計(B)	千円			779		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			10,229		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
23年度までは特養等介護保険施設の床数は国の基準により県が枠を決めており増床は難しかったが、24年度から撤廃され、増床が可能となった。	特になし	特養待機者の解消のため、早期に施設整備を行うよう市民や議会等から求められている。

事務事業名	特別養護老人ホームえがおの里増床事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	--------------------	-----	-------	-----	----------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設の職員体制や将来的な需要等を考慮すると20床という増床数は適当であると考えられる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	特養入所待機者の解消が図られないことになる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	工事費や物品購入の入札減を見込む。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	営繕事業については、専門的な知識が必要であることから都市建築課で代理執行をお願いし、効率的な事業執行を図る計画である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	全ての高齢者が対象となり得る施設の整備である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
増床する居室の形態は、施設の指定管理者である市社協と協議した結果、最終的にはユニット型個室の形で整備することとし、実施設計が完了した。平成26年度において工事を発注し、年度内に完成、27年4月に開所する予定である。				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																					
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																					
今回の増床工事により、特養の待機が少しでも改善されると思うが、既存の施設の老朽化が進んでおり、その維持管理及び施設全体の将来的な運営のあり方も検討していかなければならない。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								